

古文ドリル：「で」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「で」の正体（2用法）

古文の「で」は、直前の語が「活用語の未然形」か「体言」かを見るだけで識別できます。最も重要なのは、現代語にない**打消の意味**を見落とさないことです。「で」一文字で文意が正反対になります。

用法	接続（直前の形）	訳	例
① 接続助詞「で」	未然形＋で	～しないで・～ずに（打消）	言は で
② 格助詞「で」	体言＋で	～で（手段・場所・原因）	舟 で

接続助詞「で」は、打消の助動詞「ず」の連用形が変化したもの。だから意味は**打消**です。

識別の鉄則

- 「で」の直前の音を見る。四段ならア段（行か・言は）＝未然形＝**打消の接続助詞**。
- 迷ったら直前の語に「ず」を付けてみる。「行か＋ず」と自然につながれば未然形＝打消の「で」。
- 直前が体言（名詞）なら格助詞「で」（手段・場所・原因）。ただし格助詞「で」は中世以降の用法で、平安の作品ではほとんどが**打消の接続助詞**。
- 「て」と「で」を混同しない。連用形（イ段）＋て＝順接「～して」。未然形（ア段）＋で＝打消「～しないで」。

🎯 解き方のコツ（試験本番で3秒）

コツ① 動詞の後の「で」は、まず打消を疑う

- 「言はで」「行かで」「聞かで」「帰らで」のように、**動詞の未然形＋で**を見たら「～しないで・～ずに」と訳す。
- 打消を読み飛ばすと文意が真逆になる。動詞の後の「で」では必ず立ち止まる。

コツ② 「ず」を付けて未然形か確かめる

- 「行か」→「行かず」○ → 未然形 → 打消の「で」

- 「舟」→「舟ず」×→体言→格助詞の「で」

コツ③ 「て」とのちがいは直前の音

- イ段+て（行きて・見て）＝順接「～して」
- ア段+で（行かで・見で）＝打消「～しないで」

よくある引っかけ

- 「あらで」はラ変「あり」未然形「あら」+で＝「～でなくて・～しないで」。
- 「せで」（サ変）「来（こ）で」（カ変）も未然形+で＝打消。
- 体言+で（格助詞）は中世以降。平安の文では「にて」が使われ、「で」は打消が中心。

採点表

各セッションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- 基礎（Q1～Q20）： /20
- 標準（Q21～Q50）： /30
- 応用（Q51～Q80）： /30
- 入試レベル（Q81～Q100）： /20
- 合計： /100

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

未然形+で（打消）と体言+で（格助詞）を純粋に見分ける。

Q1. 次の傍線部「で」を識別せよ。

言は~~で~~思ふ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） **解説：**「言は」は四段「言ふ」未然形（ア段）。「で」は打消の接続助詞で「言わないで思う」。「言は+ず」と付くので未然形と確認できる。

Q2. 次の傍線部「で」を識別せよ。

行か~~で~~やみぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） **解説：**「行か」は四段「行く」未然形。「行かないで終わった」。打消の接続助詞。

Q3. 次の傍線部「で」を識別せよ。

舟**で**渡る。

答え：格助詞「で」（手段） **解説：**「舟」は体言。体言＋で＝格助詞で、手段を表す。「舟で渡る」。

Q4. 次の傍線部「で」を識別せよ。

聞か**で**過ぎぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） **解説：**「聞か」は四段「聞く」未然形。「聞かないで通り過ぎた」。打消の接続助詞。

Q5. 次の傍線部「で」を識別せよ。

帰ら**で**ありけり。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） **解説：**「帰ら」は四段「帰る」未然形。「帰らないでいた」。打消の接続助詞。

Q6. 次の傍線部「で」を識別せよ。

山**で**休む。

答え：格助詞「で」（場所） **解説：**「山」は体言。体言＋で＝格助詞で、場所を表す。「山で休む」。

Q7. 次の傍線部「で」を識別せよ。

思は**で**過ぎにき。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） **解説：**「思は」は四段「思ふ」未然形。「思わないで過ぎてしまった」。打消の接続助詞。

Q8. 次の傍線部「で」を識別せよ。

見でやみぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） **解説：**「見」は上一段「見る」未然形。「見ないで終わった」。打消の接続助詞。上一段未然形は「見」。

Q9. 次の傍線部「で」を識別せよ。

待たで出でぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） **解説：**「待た」は四段「待つ」未然形。「待たないで出かけた」。打消の接続助詞。

Q10. 次の傍線部「で」を識別せよ。

ひとりで泣く。

答え：格助詞「で」（状態） **解説：**「ひとり」は体言。体言+で=格助詞で、状態を表す。「ひとりで泣く」。

Q11. 次の傍線部「で」を識別せよ。

咲かで散る。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） **解説：**「咲か」は四段「咲く」未然形。「咲かないで散る」。打消の接続助詞。

Q12. 次の傍線部「で」を識別せよ。

寝で明かす。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） **解説：**「寝」は下二段「寝（ぬ）」未然形。「寝ないで夜を明かす」。打消の接続助詞。下二段未然形は「寝」。

Q13. 次の傍線部「で」を識別せよ。

来（こ）でやみぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） **解説：**「来（こ）」はカ変「来」未然形。「来ないで終わった」。打消の接続助詞。カ変未然形は「こ」。

Q14. 次の傍線部「で」を識別せよ。

せでやみにき。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） **解説：**「せ」はサ変「す」未然形。「しないで終わってしまった」。打消の接続助詞。サ変未然形は「せ」。

Q15. 次の傍線部「で」を識別せよ。

車で行く。

答え：格助詞「で」（手段） **解説：**「車」は体言。体言＋で＝格助詞で、手段を表す。「車で行く」。

Q16. 次の傍線部「で」を識別せよ。

食はで過ごす。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） **解説：**「食は」は四段「食ふ」未然形。「食べないで過ごす」。打消の接続助詞。

Q17. 次の傍線部「で」を識別せよ。

あらではかなし。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） **解説：**「あら」はラ変「あり」未然形。「(そうで) なくて頼りない」。打消の接続助詞。「あらで」は「～でなくて」とも訳す。

Q18. 次の傍線部「で」を識別せよ。

死なでながらふ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） **解説：**「死な」はナ変「死ぬ」未然形。「死なないで生き長らえる」。打消の接続助詞。

Q19. 次の傍線部「で」を識別せよ。

受けで返す。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） 解説：「受け」は下二段「受く」未然形（e段）。「受け取らないで返す」。打消の接続助詞。

Q20. 次の傍線部「で」を識別せよ。

筆で書く。

答え：格助詞「で」（手段） 解説：「筆」は体言。体言＋で＝格助詞で、手段を表す。「筆で書く」。

【第2部】 標準編（Q21～Q50）

さまざまな活用の動詞で、未然形＋で（打消）を見抜き、正しく訳す。

Q21. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

問はで過ぎにき。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：問わないで通り過ぎてしまった 解説：「問は」は四段「問ふ」未然形。打消の接続助詞。打消を読み飛ばすと意味が逆になる代表例。

Q22. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

言はで思ひそめてき。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：言わないで恋しく思いはじめてしまった 解説：「言は」は四段「言ふ」未然形。打消の接続助詞。和歌で「気持ちを言葉にしないまま」を表す頻出表現。

Q23. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

聞かでやみにしことの悔しさよ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：聞かないで終わってしまったことの悔しさよ 解説：「聞か」は四段「聞く」未然形。打消の接続助詞。「やみにし」は「終わってしまった」。

Q24. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

帰らでゐたりければ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：帰らないでいたところ **解説**：「帰ら」は四段「帰る」未然形。打消の接続助詞。「ゐたり」は「いた」。

Q25. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

なかなか言はでやみにしを。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：かえって言わないで終わってしまったことよ **解説**：「言は」は四段「言ふ」未然形。打消の接続助詞。「なかなか」は古文で「かえって・なまじ」。

Q26. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

物も食はで嘆く。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：物も食べないで嘆く **解説**：「食は」は四段「食ふ」未然形。打消の接続助詞。

Q27. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

知らで過ぎけり。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：知らないで過ごしてしまった **解説**：「知ら」は四段「知る」未然形。打消の接続助詞。

Q28. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

月も見で寝（い）ぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：月も見ないで寝る **解説**：「見」は上一段「見る」未然形。打消の接続助詞。

Q29. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

起きで臥（ふ）したり。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：起きないで横になっていた 解説：「起き」は上二段「起く」未然形（i段）。打消の接続助詞。

Q30. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

答へでうつぶす。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：答えないでうつ伏せる 解説：「答へ」は下二段「答ふ」未然形（e段）。打消の接続助詞。

Q31. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

出でこもりをり。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：外出しないで引きこもっている 解説：「出で」は下二段「出づ」未然形。打消の接続助詞。

Q32. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

あへで泣きぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：こらえきれないで泣いた 解説：「あへ」は下二段「あふ（敢ふ）」未然形。「こらえる」の意。打消の接続助詞。

Q33. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

知らでやありけむ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：知らないでいたのだろうか 解説：「知ら」は四段未然形。打消の接続助詞。「やありけむ」は疑問。

Q34. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

待たで帰りぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：待たないで帰った 解説：「待た」は四段「待つ」未然形。打消の接続助詞。

Q35. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

ことづ（言伝）てで別れぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：言伝てしないで別れた **解説：**「ことづて」は下二段「ことづつ」未然形。打消の接続助詞。

Q36. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

花も咲かで春暮れぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：花も咲かないで春が暮れた **解説：**「咲か」は四段「咲く」未然形。打消の接続助詞。

Q37. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

文も書かで月日経ぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：手紙も書かないで月日が過ぎた **解説：**「書か」は四段「書く」未然形。打消の接続助詞。

Q38. 次の傍線部「で」を識別せよ。

京で聞く。

答え：格助詞「で」（場所） **解説：**「京」は体言。体言＋で＝格助詞で、場所を表す。「京で聞く」。中世以降の用法。

Q39. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

たれ（誰）も来（こ）でさびし。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：誰も来ないで寂しい **解説：**「来（こ）」はカ変未然形。打消の接続助詞。

Q40. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

物言はで笑む。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：物を言わないでほほえむ **解説：**「言は」は四段未然形。打消の接続助詞。

Q41. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

雨にもあへ**で**濡れにけり。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：雨を防ぎきれないで濡れてしまった **解説：**「あへ」は下二段「あふ（敢ふ）」未然形。「こらえる・防ぐ」。打消の接続助詞。

Q42. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

心も解け**で**過ぐす。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：打ち解けないで過ぐす **解説：**「解け」は下二段「解く」未然形。打消の接続助詞。

Q43. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

矢も射**で**逃げぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：矢も射ないで逃げた **解説：**「射」は上一段「射る」未然形。打消の接続助詞。上一段未然形は「射」。

Q44. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

道も知ら**で**惑ふ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：道もわからないで迷う **解説：**「知ら」は四段未然形。打消の接続助詞。

Q45. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

顔も見せ**で**去りぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：顔も見せないで去った **解説：**「見せ」は下二段「見す」未然形。打消の接続助詞。

Q46. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

物も言は**で**ながめをり。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：物も言わないで物思いにふけている **解説：**「言は」は四段未然形。打消の接続助詞。「ながむ」は物思いにふける。

Q47. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

思ひも果て**で**わかれぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：思いも遂げないで別れた **解説：**「果て」は下二段「果つ」未然形。打消の接続助詞。

Q48. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

いとま（暇）も得**で**急ぐ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：暇も得られないで急ぐ **解説：**「得」は下二段「得（う）」未然形。打消の接続助詞。下二段「得」の未然形は「え」。

Q49. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

言ひも果て**で**泣きぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：言い終えないで泣いた **解説：**「果て」は下二段「果つ」未然形。打消の接続助詞。

Q50. 次の傍線部「で」を識別せよ。

大路（おほぢ）**で**見る。

答え：格助詞「で」（場所） **解説：**「大路」は体言。体言＋で＝格助詞で、場所を表す。「大通りで見る」。

【第3部】 応用編（Q51～Q80）

「て」と「で」の区別、紛らわしい識別、文脈で打消を見抜く問題を中心に。

Q51. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

行きて見る。

答え：接続助詞「て」（連用形接続・順接） 解説：「行き」は四段「行く」連用形（イ段）。連用形＋て＝順接「行って見る」。打消ではない。

Q52. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

行かで見る。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） 解説：「行か」は四段「行く」未然形（ア段）。未然形＋で＝打消「行かないで見る」。Q51と直前の音で区別する。

Q53. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

見て泣く。

答え：接続助詞「て」（連用形接続・順接） 解説：「見」は上一段「見る」連用形。連用形＋て＝順接「見て泣く」。

Q54. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

見で泣く。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） 解説：「見」は上一段「見る」未然形。未然形＋で＝打消「見ないで泣く」。上一段は未然形・連用形とも「見」で同形なので、続く語（て／で）で判断する。

Q55. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

聞きて驚く。

答え：接続助詞「て」（連用形接続・順接） 解説：「聞き」は四段「聞く」連用形（イ段）。連用形＋て＝順接「聞いて驚く」。

Q56. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

聞かで驚く。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） **解説：**「聞か」は四段「聞く」未然形（ア段）。未然形＋で＝打消「聞かないで驚く」。

Q57. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

心ならずも離れ**で**過ごす。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：心ならずも離れないで過ごす **解説：**「離れ」は下二段「離る」未然形。打消の接続助詞。

Q58. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

月待ち出**で**入りぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：月を待って出ないで（待ちきれずに）入った **解説：**「出で」は下二段「出づ」未然形。打消の接続助詞。

Q59. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

あら**で**世にふる。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：そうでなくて世を過ごす **解説：**「あら」はラ変「あり」未然形。打消の接続助詞。「あらで」は「～でなくて」とも訳す。

Q60. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

いも寝（ね）**で**夜を明かす。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：眠らないで夜を明かす **解説：**「寝（ね）」は下二段「寝（ぬ）」未然形。打消の接続助詞。「いも寝」は「眠る」。

Q61. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

待ち**て**みたり。

答え：接続助詞「て」（連用形接続・順接） **解説：**「待ち」は四段「待つ」連用形（イ段）。連用形＋て＝順接「待っていた」。

Q62. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

待たで去りぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） 解説：「待た」は四段「待つ」未然形（ア段）。未然形＋で＝打消「待たないで去った」。

Q63. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

ものも言はでぞ立てりける。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：何も言わないで立っていた 解説：「言は」は四段未然形。打消の接続助詞。「ぞ～ける」は係り結び。

Q64. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

訪（と）はで月日を経。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：訪れないで月日を過ごす 解説：「訪は」は四段「訪ふ」未然形。打消の接続助詞。

Q65. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

しのびで音をのみ泣く。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：こらえきれないで声を上げてばかり泣く 解説：「しのび」は上二段「忍ぶ」未然形（i段）。「こらえる」。打消の接続助詞。

Q66. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

え避（さ）らで別る。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：避けられないで別れる 解説：「避ら」は四段「避る」未然形。「え～で」で「～できないで」。打消の接続助詞。

Q67. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

起きてて見る。

答え：接続助詞「て」（連用形接続・順接） **解説：**「起き」は上二段「起く」連用形（i段）。連用形＋て＝順接「起きて見る」。上二段は未然形「起き」と連用形「起き」が同形なので、続く語で判断する。

Q68. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

起き**で**寝（い）ぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） **解説：**「起き」は上二段「起く」未然形（i段）。未然形＋で＝打消「起きないで寝る」。

Q69. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

名残を惜しま**で**別れぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：名残を惜しまないで別れた **解説：**「惜しま」は四段「惜しむ」未然形（ア段）。打消の接続助詞。

Q70. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

暮れ**で**明けぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：（日が）暮れないで明けた **解説：**「暮れ」は下二段「暮る」未然形（e段）。打消の接続助詞。四段「暮らす」（未然「暮らさ」）と混同しないこと。

Q71. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

え行か**で**やみにき。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：行くことができないで終わってしまった **解説：**「行か」は四段未然形。「え～で」で「～できないで」。打消の接続助詞。

Q72. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

立ち返り見**で**ぞ過ぎける。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：振り返って見ないで通り過ぎた **解説：**「見」は上一段「見る」未然形。打消の接続助詞。「ぞ～ける」は係り結び。

Q73. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

雪消えで残れり。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：雪が消えないで残っている **解説：**「消え」は下二段「消ゆ」未然形（e段）。打消の接続助詞。

Q74. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

言ひて去りぬ。

答え：接続助詞「て」（連用形接続・順接） **解説：**「言ひ」は四段「言ふ」連用形（イ段）。連用形＋て＝順接「言って去った」。

Q75. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

言はで去りぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） **解説：**「言は」は四段「言ふ」未然形（ア段）。未然形＋で＝打消「言わないで去った」。

Q76. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

風吹かで波静かなり。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：風が吹かないで波が静かだ **解説：**「吹か」は四段「吹く」未然形。打消の接続助詞。

Q77. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

涙もとどめで流る。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：涙もとどめないで流れる **解説：**「とどめ」は下二段「とどむ」未然形（e段）。打消の接続助詞。

Q78. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

物も覚えで臥（ふ）したり。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：正気もなく横になっていた **解説：**「覚え」は下二段「覚ゆ」未然形（e段）。打消の接続助詞。「物も覚えず」は「正気を失う」。

Q79. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

恥も忘れ**で**もだす。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：恥も忘れないで黙っている **解説：**「忘れ」は下二段「忘る」未然形（e段）。打消の接続助詞。「もだす」は「黙る」。

Q80. 次の傍線部「で」を識別せよ。

一筆**で**書く。

答え：格助詞「で」（手段） **解説：**「一筆」は体言。体言＋で＝格助詞で、手段を表す。「一筆で書く」。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

有名出典の一節や、文意から打消を見抜く実戦問題で総仕上げ。

Q81. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

夢と知ら**で**寝にけり。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：夢と知らないで寝てしまった **解説：**「知ら」は四段「知る」未然形。打消の接続助詞。「夢と知らで」は和歌で頻出。

Q82. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

心にもあら**で**憂き世にながらへば。（後拾遺集・三条院）

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：心ならずも（本意でなく）つらい世に生き長らえるなら **解説：**「あら」はラ変「あり」未然形。打消の接続助詞。「心にもあらで」で「不本意ながら」。

Q83. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

ありとても頼むべきかは世の中を知らで過ごすぞはかなかりける。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：（無常の）世の中を知らないで過ごすのははかないことだ **解説：**「知ら」は四段未然形。打消の接続助詞。

Q84. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

もの言はで音にぞ泣くらむ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：物を言わないで声を上げて泣いているのだろう **解説：**「言は」は四段未然形。打消の接続助詞。「ぞ〜らむ」は係り結び。

Q85. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

逢はでやみなむ憂き身ともがな。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：逢わないで終わってしまうつらい身であってほしい **解説：**「逢は」は四段「逢ふ」未然形。打消の接続助詞。「もがな」は願望。

Q86. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

雲隠れにし夜半（よは）の月かな、待ち出でで入りぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：（月を）待ち迎えなくて（先に）引っ込んでしまった **解説：**「出で」は下二段「出づ」未然形。打消の接続助詞。

Q87. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

別れでやまむと思ふ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：別れなくて終わらせようと思う **解説：**「別れ」は下二段「別る」未然形（e段）。打消の接続助詞。

Q88. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

来（き）て見れば。

答え：接続助詞「て」（連用形接続・順接） **解説：**「来（き）」はカ変「来」連用形。連用形+て＝順接「来て見ると」。カ変連用形は「き」。

Q89. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

来（こ）**で**やみぬ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消） **解説：**「来（こ）」はカ変「来」未然形。未然形+で＝打消「来ないで終わった」。カ変は未然「こ」・連用「き」で形が違うので、直前の音でも判断できる。

Q90. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

言（こと）問は**で**過ぎにけり。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：声をかけないで通り過ぎてしまった **解説：**「問は」は四段「問ふ」未然形。打消の接続助詞。「言問ふ」は「話しかける」。

Q91. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

せ**でも**ありなむ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：しないでも済むだろう **解説：**「せ」はサ変「す」未然形。打消の接続助詞。「～でもありなむ」で「～なくても済むだろう」。

Q92. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

顧（かへり）み**で**進む。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：振り返らないで進む **解説：**「顧み」は上一段「顧みる」未然形。打消の接続助詞。

Q93. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

涙のこぼるるを知ら**で**ありけり。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：涙がこぼれるのを知らないでいた **解説：**「知ら」は四段未然形。打消の接続助詞。

Q94. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

たのま**で**過ごす年月。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：あてにしないで過ごす年月 **解説：**「たのま」は四段「頼む」未然形（ア段）。打消の接続助詞。「頼む」は古文で「あてにする」。

Q95. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

行きやら**で**山路暮らしつ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：行ききらないで山道で一日を過ごした **解説：**「やら」は四段「やる」未然形。「行きやる」は「行ってしまう」。打消の接続助詞。

Q96. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

あへ**で**こぼるる涙かな。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：こらえきれないでこぼれる涙よ **解説：**「あへ」は下二段「あふ（敢ふ）」未然形。打消の接続助詞。

Q97. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

知ら**で**しもあらし。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：知らないでいるのでもあるまい **解説：**「知ら」は四段未然形。打消の接続助詞。「～でもあらし」で二重否定的に強める。

Q98. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

寝（ぬ）られ**で**明かしかねつる。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：眠ることができないで夜を明かしかねた **解説：**「寝られ」は下二段「寝（ぬ）」未然形「寝」＋可能の助動詞「らる」未然形「られ」。その未然形＋で＝打消。「眠れないで」。

Q99. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

つひに行か**で**やみにし道。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：とうとう行かないで終わってしまった道 解説：「行か」は四段未然形。打消の接続助詞。「つひに〜で」で「とうとう〜しないで」。

Q100. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

あひ見でやみなば憂からむ。

答え：接続助詞「で」（未然形接続・打消）／訳：逢わないで終わってしまったらつらいだろう 解説：「見」は上一段「見る」未然形（「あひ見る」）。打消の接続助詞。「やみなば」は「終わってしまったら」。

採点振り返り

おつかれさまでした。間違えた問題は、「で」の直前の語をもう一度確認しましょう。

- **接続助詞「で」**…**未然形**+で。打消「〜しないで・〜ずに」。動詞の後の「で」は必ずこれを疑う。直前に「ず」を付けて自然なら未然形。
- **格助詞「で」**…**体言**+で。手段・場所・原因「〜で」。ただし中世以降の用法で、平安の文では打消の接続助詞が中心。
- **「て」との区別**…連用形（イ段）+て=順接「〜して」／未然形（ア段）+で=打消「〜しないで」。上一段・上二段など未然形と連用形が同形の語は、続く「て／で」で判断する。

いちばん大切なのは、**打消の「で」を読み飛ばさない**こと。「で」一文字で文意が真逆になります。動詞の後の「で」では必ず立ち止まる習慣をつけましょう。

この問題集は無料です。古文の他の識別（「に」「ば」「の」など）のドリルや、文法解説とあわせてご活用ください。

誰でも古典塾 (<https://kotennosensei.com>) / 個別指導塾フィット・中本裕太